

(社) 日本地すべり学会関東支部

2010 年 ニューズレター

1. (社) 日本地すべり学会関東支部 平成 21 年度現地検討会の開催について

平成 21 年度の現地検討会として、下記のように 2 つのコースについて現地検討会を実施した。

(1) コース 1 : 足尾の森林復元を見る

日 時 : 平成 21 年 10 月 23 日 (金)

場 所 : 栃木県日光市足尾町

参加人数 : 11 名

本年度の関東支部シンポジウムのテーマでもあった森林再生の代表例でもある栃木県日光市足尾町の施工緑地を視察した。

栃木県足尾銅山周辺の国有林は、森林伐採・山火事に加え製錬所から排出される亜硫酸ガスによる煙害が森林を消滅させたため、広大な荒廃地が出現し、その流出土砂は下流に大きな被害を与えていた。そのため、昭和 22 年から荒廃地の緑化に着手し、精錬方法の改善により煙害がなくなった昭和 31 年から本格的に治山事業が開始された。



写真 1-1 現地での鶴飼支部長



写真 1-2 山腹状況



写真 1-3 山腹斜面状況



写真 1-4 現地視察状況



写真 1-5 現地視察状況



写真 1-6 植林状況

昭和 40 年には、いち早くヘリコプターを利用した緑化を取り入れて大面積の緑化が効率的に行われるようになり、現在は、復元された緑を見ることができる。今回は、森林再生の代表例である足尾の緑化施工地を、事業を実施している林野庁の御担当者に案内をしていただき、春のシンポジウムに引き続いて森林の機能について考える良い機会となった。

(2) コース 2：山梨の地すべりを見る

日 時：平成 21 年 10 月 30 日（金）

場 所：山梨県西八代郡市川三郷町・南巨摩郡鰍沢町（峡南建設事務所管内）

参加人数：16 名

関東各地の地すべり地を見学し、現地における討論により認識を深める目的で山梨県の地すべり施工現場を訪問した。

見学地である山梨県西八代郡市川三郷町山保地内では、平成 20 年 7 月、県道山保久那土（やまほくなど）線に変状があらわれ、11 月に上部斜面の地すべりが移動していることが判明し、現在、これを抑止するためにアンカー工の施工が行われている。今回は、この地すべり現地の視察を行うとともに、応急対策から恒久対策にいたる災害時の対応について山梨県からの御説明もいただき、対策のあり方等について意見交換を実施した。またもう一箇所、対策工が完了した山梨県の代表的な地すべりである西沢地すべりについても視察した。



写真 2-1 山梨県からの説明



写真 2-2 排水トンネル状況



写真 2-3 アンカー施工状況



写真 2-4 アンカー施工状況

2. 平成 22 年度関東支部シンポジウムのお知らせ

本年度の関東支部総会シンポジウムは、下記の様、「新技術を用いた空（宇宙）からの地すべり地形把握と解析」をテーマに下記講演を予定している。皆様奮って御参加下さい。

～平成 22 年度（社）日本地すべり学会関東支部総会・シンポジウム～

◆ 開催日時：平成 22 年 6 月 18 日（金）13：00～17：00

◆ 場 所：東京大学武田先端知ホール

◆ 内 容：13：00～14：00 （社）日本地すべり学会関東支部総会
14：00～17：00 シンポジウム

- ①「SAR 干渉画像と航空レーザ測量データを利用した地表変動の検出」
：佐藤浩（国土地理院）
- ②「合成開口レーダによる災害監視の事例」
：下村博之（株式会社パスコ）
- ③「防災に関わるレーザ計測技術と DEM の活用」
：小野田敏（アジア航測株式会社）
- ④「2 時期のレーザ地形画像マッチングによる地すべり移動量の計測」
：向山栄（国際航業株式会社）

発行者：社団法人 日本地すべり学会関東支部（支部長：鵜飼恵三）
376-8515 群馬県桐生市天神町 1-5-1 群馬大学研究科社会環境デザイン工学専攻内
Tel：0277-30-1624（Fax 共有）
関東支部 Web ページ：<http://japan.landslide-soc.org/branch/kantou/>